

地域振興推進費事業計画・自己評価書 (実績)

2026年3月30日

提出区分	実績	整理番号	3	課題区分	C			
横断的な課題	木曽らしさを活かした観光振興							
地域重点政策	木曽らしさを活かした観光振興					木曽地域振興局		
実施機関	木曽地域振興局 企画振興課			担当課	所属	企画振興課		
事業名	木曽地域リニア活用推進事業			電話	0264-25-2212(直通)			
				E-mail	kisochi-kikaku @pref.nagano.lg.jp			
事業の概要等	目的 (目指す姿)	リニア中央新幹線の整備、開業等を木曽地域全体の地域振興につなげ発展に資するため、観光・交流・交通・暮らし方・働き方などの研究・検討を進める。そして、地域経済を活気づけ、盛り立てて、活力溢れる木曽地域になることで、観光客を増やし、持続可能な観光地域づくりを推進することを目的とする。						
	現状と課題	<p>1現状</p> <p>・長野県としては、リニア中央新幹線長野県駅(飯田市)ができる予定である南信州、上伊那地域を中心に伊那谷全体の発展に資することを目的に新たなまちづくり、産業振興等の広域的な地域振興に繋げるための、「リニア中央新幹線整備を地域振興に活かす伊那谷自治体会議」を開催し、検討を重ねているところである。しかし木曽地域においては、伊那谷からの観光客の周遊が多少認められるものの、その効果がなかなか波及していないのが現状としてある。</p> <p>2課題</p> <p>・そこで、木曽地域では、リニア中央新幹線開業に向け、長野県駅(飯田市)だけでなく、岐阜県駅(中津川市)へのアクセスの良さを強みとし、地域の特性を活かした県境を跨ぐ観光地域づくりを研究していくことが必要である。</p>						
内容 (変更後の内容)	概要	<p>◆木曽地域リニア活用推進協議会 専門部会の運営</p> <p>＜観光・交流部会＞</p> <p>◇研究・検討テーマ</p> <p>「リニア岐阜県駅・長野県駅を活用した観光地域づくり(R7～)」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・木曽地域を拠点とした、日本遺産を活かした広域観光(主に外国人旅行者向け) ・森林資源を活かした体験メニューのブラッシュアップ(主に都市部のこども・若者向け) ・木曽路のブランディングとプロモーション <p>◇第1回観光・交流部会</p> <p>(1) 目的:</p> <ul style="list-style-type: none"> ・リニア駅からの県内誘客のゲートウェイとして持続可能な地域となることを目指し、地域での事業化を促進 ・「日本遺産木曽路」ロングトレイルとしての受入体制の整備に向けて地域の幅広い関係者の連携を強化 <p>(2) 日時 : 令和7年7月8日(火)午前10時30分から</p> <p>(3) 場所 : 木曽町役場 大会議室</p> <p>(4) 内容 : パネルディスカッション</p> <p>(i) テーマ:「日本遺産木曽路が目指す観光地域づくり～リニア時代の木曽路ロングトレイルに向けた人づくりと投資～」</p> <p>(ii) パネリスト: ポール・クリスティ(Walk Japan Ltd. CEO)</p> <p>湯川 尚子 (榊湯川酒店 代表取締役)</p> <p>河合 毅 (阿寺ブルー榊 代表)</p> <p>向井 裕明 (南木曽町長)</p> <p>阿部 守一 (長野県知事)</p> <p>(iii) コーディネーター: 重野 幸永 (長野県商工会連合会副会長、木曽支部長、木曽町商工会長)</p>						
	事業期間	令和7年6月		～	令和8年3月			
事業費等	(単位:円)							
	事業を構成する細事業名等	実施内容	計画(実績)額	備考				
	木曽地域リニア活用推進協議会観光・交流部会の開催	パネリスト、コーディネータ謝礼		28,800	パネリスト2名、コーディネータ1名 @3,200×3時間×3名=28,800円			
		パネリスト、コーディネータ費用弁償		1,140	パネリスト2名			
		通知、資料等郵送料		0				
		資料作成用消耗品等		0				
コピー代			0					
合計			29,940					
達成指標状況及び	成果指標	目標値	成果	達成状況				
	木曽地域リニア活用推進協議会観光・交流部会の参加者数	50人以上	68人	<input checked="" type="radio"/> 達成 <input type="radio"/> 一部達成 <input type="radio"/> 未達成				
事業成果	【事業実績】							
	<p>・令和7年7月8日(火)に第1回観光・交流部会としてパネルディスカッションを開催。</p> <p>・68人が参加し、リニア時代の広域観光について、パネリストによるディスカッションや、参加者による意見交換を行った。</p> <p>【成果】</p> <p>・リニア中央新幹線開業を契機に持続可能な観光地域づくりを推進するための人づくりや投資について知見や取組事例の共有を図ることで、「日本遺産木曽路」としての受入体制の整備に向け地域一体となった連携強化や機運醸成に繋げることができた。</p>							
今後の方向性	<p>・木曽地域リニア活用推進協議会を推進していく。</p> <p>・令和8年度には第2会協議会を開催し、県・部会からの報告のほか、講演会を実施予定。</p>							